

鹿児島県大島郡与論町朝戸方言の副助詞

町 博光

I. はじめに

①調査対象地：奄美諸島の最南端に位置する与論島は、行政上は、鹿児島県に属する。鹿児島市から 592km、沖縄那覇市からは 116km にある。沖縄本島北端とは 28km しか離れていない。周囲 21.9km、面積 20.82 k m²。一島で一町を形成し、9 小字からなる。人口 6、500 余。近年、人口の増減はほとんどなく、安定している。

生業は砂糖黍中心の農業と肉牛の肥育。それに女性の島紬織り。一時の観光ブームは下火になっている。漁業は自給程度。

沖縄本島那覇市・鹿児島市への船便・航空便ともに整備されている。

②調査年月日：1998 年 8 月 17 日

③教示者：吉田ケイ氏（1928 年生まれ）。朝戸集落出身。

④調査者・調査場所：吉田氏宅で、町が面接でおこなった。

⑤調査方法：調査票にもとづく面接調査。ただし、以下の記述では、筆者の内省も記録することにする。その際、できるだけ客観的に記録し、吉田氏との食い違いなどにもふれることとする。

⑥表記方法：音声記号で表記する。語のアクセントは省略する。質問文に続けて当該方言の文例を示す。話者の説明は（ ）でくくる。

II. 調査結果

(1) 添加・例示・提題などをあらわすもの

A. 添加

1. 雨だけでなく風さえ吹いてきた。?amidukuruka hadigadi putʃi kitʃan. 全国共通語の《さえ》には gadi が対応している。《さえも》には gadin が対応している。係助詞《も》には n が対応する。

2. 今年は豊作で、米ばかりか麦もよくとれた。Futabja: jugaFu:nati, maidukuruka mugin upusa turarju:tan. (《ばかりか》には bakkaika も言うとは思いますが、共通語語である。やはり dukuruka <どころか> がもっとも自然である。)

B. 予想外の事実

3. 小学生でさえ簡単にワープロを使っている。ʃo:gakuʃeigadi jaʃijaʃitu wa:puro tʃ ikko:tui.

4. (宝くじが) 当たると思っていなかっただけに嬉しい。(kudʒa:)?atajuntʃi mu:turanntarunati iʃo:ʃai. 《だけに》に相当する言いかたはない。nati <なので> と理由を説明する表現形式をとっている。

C. 条件

5. 暇さえあれば釣りに行っている。çimaso:ka ?aribo: ?iju:kwa: ʃinnja ?idʒui. 《さ

え》には so:ka が対応している。「金さえあればよい」には「haniso:ka ?aribo:najun.」とやはり so:ka が対応している。

D. 例示

6. まあお茶でも飲んでください。?ai tʃa:jantʃun nuditaba:ri. 《でも》には ?e:ban も対応する。しかし ?e:ban にはへりくだりの意味はうすい。
7. みやげにはこのまんじゅうなどどうかな。mijagja: Funu mandzu:nago: ittʃa: ga.nago: はくなどは > からの派生形と考えられる。
8. 思わず跳び上がるほど嬉しかった。mui?inka:rannu tubjagajuntana ?ifo:ʃatan.tana は《まで》に相当。（「思わず」は mui?inka:rannu <思いにもかからぬ> が当たるだろう。）
9. まさかあなたにまで話が行くとは思わなかった。mui?inka:rannu ?ure:katigadi panafinu mo:ti?ikjuntʃa: mantan. （「まさか」にも mui?inka:rannu があたるだろう。）
10. ぐるぐる蹴るやらの乱暴をはたらいた。sugutai ʃitainu ?u:?abariʃitʃi. 「乱暴をはたらいた」は ?u:?abariʃitʃi <大暴れして> と連用形止めで表現するのが自然である。
11. 私になりそうだししてくれれば良かったのに。wankatjantʃun so:dan ʃiribo:najutarumunu. 「になり」の「に」は kati、「なり」に直接相当する語形はない。jantʃun はくでさえも > に相当する。「せめてわたしにさえでも」のニュアンスとなる。
12. 野菜なんていくらでもできる。jasse:nago: ?itʃassan tʃikurarjun.

一対の語の例示

13. しょうゆだってみそだって作っていたんだ。ʃo:ju:jin miʃun tʃukututarumunu. 《だつて》には jin が対応する。係助詞「も」の n よりも例示意識がつよい。

択一

14. 私なり弟なりがお手伝いに行きます。wanu?e:ban uttubi?e:ban tafikinnja ?ikja:bjun. ?e:ban には「わたしであれ弟であれ」といった仮定の意味がふくまれる。

例外でない

15. 村長とて、そうするより仕方なかったんだろう。sontʃo:e:ban gaʃu:ʃi?e:kuma ʃikatanunenntaru padʒi. 《とて》には jatin <であっても> も該当するが、古語的な言いかた。

列举

16. 春らしくなって、梅も桜も一度に咲いた。harune:ʃinatikitʃi ?umenupanan sakuranupanan ma:dʒin satʃai. 《も》には n が対応する。「一度に」には ma:dʒin <

同時に>が当たる。

同類の暗示

17. テレビもそろそろ買い替えよう。terebin sorosoro hon. honは<買おう>に相当する。(買い替えるにあたる言いかたは思いつかない。)

やわらげ

18. まあお茶でも飲んでください。?ai tʃa:jantʃun nuditaba:ri. 文例6の例示だと e:banでもよいが、「やわらげ」のばあい jantʃun <でさえも>がふさわしい。

E. 包括

19. 盆には子や孫などが帰ってくる。?ubonnaribo: kwa:?umagantʃa:nu muditikjun.
《など》には naga が対応するが、この文に当てはめると不自然である。

F. 提題

20. ゲートボールだってできるよ。ge:tobo:runaga ʃi:najun da:. 《でも》には ?e:ban が相当し、《でさえも》には jatin が相当する。ただしこの言いかたは(老男)。

話題にあげる

21. 何だい、いいことって。nu:ga juka pututʃi:bo:. tʃi:bo:は<くて言えば>からの派生と考えられる。

極端なものの提示

22. そんなこと子供にもできるよ。gafu:ruputu warabintʃa:?e:ban ʃi:najun do:.

《であってさえも》の強調のニュアンスを加えると ?e:tantʃin となる。

23. 食べることくらいは何とかしたい。kamju:ru putudakja: ?itʃfanka ʃi:tʃasai. 「だけは」の言いかた dakja: が代用している。

24. 名前すらろくに覚えていない。namaentʃun jutta:ʃo: ?ubuiturannu. 《すら》には tʃun が対応する。entʃun は jantʃun が正確な言いかたである。

25. 弁当代に千円もかかった。bento:daiʃi sen?engadi ka:ju:tan. (古老)は madin <までも>を使うかもしれない。

軽いものをあげる

26. これさえあればもう大丈夫だ。Furiso:ka ?aribo: nja: najun.

(2) 分量・程度・基準などをあらわすもの

G. 分量・程度

27. 旅行で三日ほど家をあけた。tabikatinʃi mikkabakaki ja: ?aitan.

28. 茶碗に半分くらいください。mahainai hanbunbakkai taba:ri.

29. 子供にでもわかるくらいのやさしい本だ。warabi?e:ban wakaju:rubakkainu wakaijassaru hon ?ei.

30. 一週間ばかり留守にするので頼むよ。?iʃʃu:kanbakkai rusufu:kutu tarumjun do:

分量・程度に関しては、いずれも《ばかり》に相当する bakkai が使われる。

H. 基準

31. 今年の寒さは去年ほどではない。Futabinu pi:so: Fudugadinja ne:. 「ほどには」に相当する nensja: も使われる。nensja には比較の意がつよく表れる。

I. 理由

32. ちょっと油断したばかりにとんでもないことになった。nama ki:jurutjaru bakkaiji jakke:na Futu nati.

J. 「それにふさわしく」

33. 苦勞しただけあって人間ができている。?awarijitjarudaki?ati minginunu dikitui.

形式名詞的用法

34. 毎日孫の守りやなんかで忙しい。mainitji ?umaganu muiji ?itfunafai. 「なんか」に相当する表現は naga が当てはめられるが、自然な表現ではない。

「それこそ」

35. それこそバケツをひっくりかえしたような大雨だ。ga:fu:kutu baketsu ke:tfangane:fu:ru ?u:ami ?ei. 《それこそ》に相当する言いかたはない。ga:fu:kutu は相手に同意を表明する言いかたである。

「～ばかりか」

36. 父ばかりか母もスポーツ好きだ。?atjabakkaika ?amma:jin ?undo:dziki do:. 《ばかりか》は共通語と同様 bakkaika が使われる。さらに強調のニュアンスを加えるなら《どころか》に対応する du:ruka・ dukuruka が使われる。

K. 今にも行われる

37. もう食べるばかりにしてある。nja: kamarjungane:ji ?utftjan. (思いつかない。)

動作の完了直後

38. 今、仕事から帰ったばかりだ。njama jigutukara muditarubakkai do:. bakkai を使うと共通語的。(言いがない。)

基準

39. 駅までもうちよっとだ。?ekintana nja: ?upi ?ei. 《まで》には tana が対応する。

L. 等量の反復

40. 一人ずつ呼んで話をした。tjuina: ?abiti panafi fitjan.

M. 等量の配分

41. 一人に二個ずつみかんをやる。tjuikati ta:tfina: kunipu turafun.
《ずつ》には na: が対応している。

(3) 限定・限界などをあらわすもの

N. 限定

42. 酒はたまにしか飲まない。saija tukitamadu numju:ru. 係助詞の du (「ぞ」) で係

って連体形で結ぶいわゆる係り結びの構文をとっている。例文が「飲まない」と否定形で結んでいるのに対し、当該方言では、直接的に「ときたま」ということを強調し回数 of the few を言い表している。表現発想の大きな差異が指摘できる。

43. 今朝は寝坊してパンだけ食べて来た。cu:nu jikamo: nebo: jitji pandakidu ko:tikitjaru. これも du で係って、連体形<食べてきてある>で結んでいる。「パンしか食べてない」という表現は取らず、「パンだけぞ食べた」と直接的な表現形式となっている。 du

44. そんなに勉強ばかりしていると体に毒だよ。gasuntana benkjo:bai firibo: karada sawajin do:.

45. うちの田が残っているきりで、よそは全部終わった。wa:tfaga ta:nu nukko:turudakifi ?ata: mu:ru naratjai.

O. 強調

46. もうこれだけしかないよ。nja: Fussadu ?ajui. 「～しかない」との発想でなく「これぞある」との発想である。

47. 今年こそいい年にしたい。Futabijantfun juka tufi narafitfasai. 「さえだけでも」にあたる jantfun が使われている。

P. 限界

48. これだけ言っても分からないのか! haffi ?itfantfin wakaradzji ji:.

49. 2千円くらいまでなら何とかなる。nisen?engadi?embo: ittfa:ka najun. 《まで》には gadi が対応している。

(4) 陳述的なもの

Q. 「～ば～だけ」

50. 肥料をやればやるだけよく育つ。koifiribo: fu:rudaki ?upiku najun.

「假定形・ば・こそ」

51. 心配すればこそ言うんだ。suwa:fu:kutudu ?ijun da: du の結びは終止形となっている。

「こそ・假定形」

52. 彼は文句こそ言え、人の言うことなど聞かない。?arja: juntakwa: fu:figa pitfunu ?iju:ru, putunago: kikannu./?arja: monkubaidu ?iju:ru, pitfunu ?iju:ru putunago: kikannu. 「こそ」の機能を有する du が見られる。

53. 「～でこそあれ《コサレなども》」という言い方はありますか。(聞いたことがない)

「未然形・ば・こそ」

54. 押しても引いても動かばこそ。?ussu:tin hagatin unkju:kutu de:ru.

「～こそ。」

55. 失礼なことを言わないでこそ。guburi:na Futu ?ijangane:fu:kutudu.

「～こそ～が」

56. 今でこそ家から出ないが、昔はよく出歩いていた。nama?e:kutudu ?idzirannu mukafa: ju: pe:dzitian. 例文をやや強調的な言いかたにするとすれば、文末の pe:dzitian 「出歩いていた」を体言止めの言いかた pe:dzi に変えるとよい。

「～ば～ほど」

57. 働けば働くほどもうかる。kibaribo: kibaju:rudaki mo:kjun. (daki の代わりに古い人が gata を使っていたような気がする。)

R. 打ち消しとの呼応

58. 村長に聞くまでもないことだ。sontfo:kati kikanban naju:ru putude:ru.

否定との呼応 (それさえもない)

59. 朝から忙しくて昼飯も食えない。fikkamakara ?itfunafanu pju:madzikintfun ko:radzi. 《さえも》の tfun と否定の dzi が呼応している。

否定的取り上げ

60. こんなものなどいくらでもあるよ。haffurumununago: ?itfjassan ?ajun do:.

全面否定

61. 誰だってそんなことを言われたら怒るよ。taru:?e:ban gafu:ruputu ?ija:riribo: hadadja: jai. ?e:ban には「誰であっても」のような仮定のニュアンスが含まれる。

S. 次の動作が不可能

62. 10年前に故郷を離れたきり、一度も帰っていない。dzu:nenme: fima ?idzitikara tfukke:jantfun muditurannu. 《きり》に対応する言いかたはない。

(5) モダリティー的なもの

T. 不確かな気持ち

63. いつのまにやら眠ってしまった。?itfinumadunge:ra nibututai.

64. 何のことか分からない。nu:nu putuge:ra wakaradzi.

「不確かな気持ち」を表現するには 63・64 両例ともに ge:ra が使われる。

推定

65. 後で遊びに行くかもしれない。?atukara ?afibinnja kjuŋge:ra wakarannu.

どちらか分からない

66. 来るのやら来ないのやらよく分からない。kjuŋge:ra kunnuge:ra muttu wakaradzi.

はっきり言わない

67. どこやらへ引っ越したそうだ。?ida:tige:ra cikkoŋi fitfi tfun da:.

「不確かな気持ち」に加えて「推定」「どちらか分からない」「はっきり言わな

い」のいずれも ge:ra が使われる。

U. 非難

68. お父さんたら今日も遅いのね。?atʃo: ɕu:ʔjin dunnasai ja:.

69. お父さんてば、子どものようなことを言って。?atʃatʃi:ba warabineʃʃu:ru
putu ʔitʃikara. 《てば》には tʃi:ba <て言えば>が対応している。

III. 総括（まとめ）

以上、共通語の例文に逐一对応文を例示してきた。その結果、共通語と当該方言との間に次のような差のあることがわかった。

①共通語と対応しない語形が当該方言に多く認められる。

②包括の「など」や形式名詞的用法の「なんか」など、いわゆる膿化事象の副助詞が認められない。

③共通語に多彩に認められる限定・限界などをあらわすものが、当該方言には栄えていない。

④係助詞 du による限定・限界などをあらわす表現がよくおこなわれている。

副助詞が、話者の強調・限定など心意表現に深くかかわっていくものであるがゆえに、方言独自の語形が多彩に派生してきたものと考えられよう。

（まちひろみつ・広島大学）